

# むし歯のリスク判定基準

むし歯のリスクはお口の中の複数の状況から判断します。ここでは幾つかの判断基準を記載しておりますが、詳細は当院へ御質問ください。この場で御理解頂きたいことは、『むし歯のリスク』は1つの因子で決まるのではなく、幾つかの要因から総合的に判断するという事です。

つまり、それぞれの患者様毎にむし歯のリスクを下げる方法が変わってくる可能性があることをここではお伝えしたいと考えております。



# むし歯のリスク判定表

	低リスク	中リスク	高リスク
むし歯経験歯数	5歯以下	6～17歯	18歯以上
刺激唾液流出量 (唾液の量)	12ml/5min	3.6～12ml/5min	≤3.5ml/5min
刺激唾液干渉能 (唾液の質)	pH5.8 ≤	PH4.8～5.7	<pH4.8
唾液中の虫歯菌数	青 (≥pH6.0)	緑 (4.5～5.5)	黄 (≤4.0)
唾液中の乳酸桿菌の 量	スコア0 スコア1	スコア2	スコア3
カリオスタット (細菌の酸酸性能力)	－、±	＋	＋＋、＋＋＋
DI(むし歯の指標)	0.1～1.2	1.3～3.0	3.1～6.0
間食回数	1回以下/日	2回/日	3回以上/日



神原正樹 「The ART OF ORAL HEALTH」第4版学建書院、2006より改変

色々な因子からむし歯のリスクを判断します